



# 四気折々

四気 = やる気+ほん気+こん気+げん気

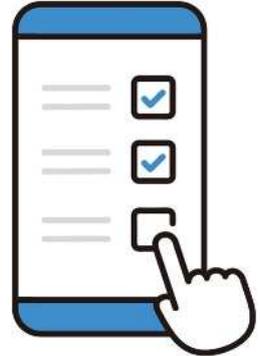
川越町立川越中学校  
学校だより 第28号  
令和8年 2月27日



<http://www.school-kawagoe.ed.jp/kawagoe-j/>

## 教育活動に関するアンケート結果報告

12月の三者懇談会のときにお願ひした「教育活動に関するアンケート」へのご協力、ありがとうございました。このアンケートは、この1年における本校における教育ビジョンや川越町教育基本方針の進み具合や定着度をはかり、今後の教育活動にいかしていくものです。結果・分析については、次のページ以降に、生徒・保護者・教職員の三者比較のグラフで記載しましたので、ご確認ください。



なお、全体としては、おおむね例年通りの結果となっています。川越中学校の生徒たちにとって、よりよい「学び」となるように、今後も引き続き、学校として進めてまいります。ご家庭においても、ご理解・ご指導をお願いいたします。

### 川越中学校 令和7年度教育ビジョン

私たちは **やる気 ほん気 こん気 げん気** を校訓として

学校教育目標：『豊かな心』を土台とした「確かに生きる」力の育成のもと



自分を大切に する生徒 他者を大切に する生徒 粘り強くやり 切る生徒	生徒	人を大切に する学校 安全で安心 できる学校 地域や保護者 とともにある 学校	学校	づくりを目指します
--	----	---	----	-----------

『関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』を柱として  
一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取り組みをすすめます

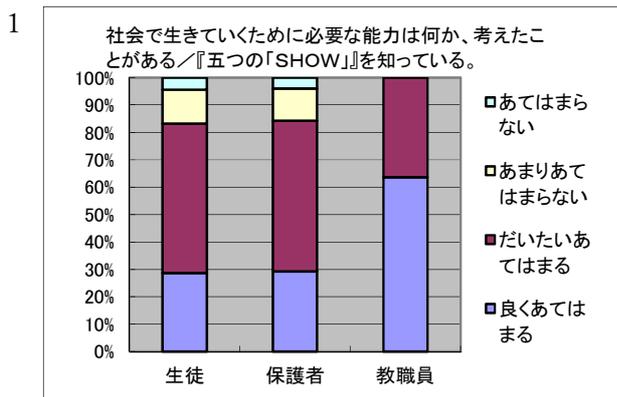
<b>わかる・できたと思える授業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学び合う・教え合う授業づくり</li> <li>• 誰も一人にしない授業づくり</li> <li>• 日常的な授業改善</li> <li>• 指導と評価の一体化</li> <li>• ICT機器の活用を日常化</li> <li>• 家庭学習の定着</li> </ul>	<b>生徒に寄り添う生徒理解の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 心に寄り添う生徒指導</li> <li>• 軸に合った教育支援</li> <li>• 日々の教育相談の充実</li> <li>• 個に合わせた進路指導</li> <li>• 家庭・地域・関係機関との連携</li> </ul>	<b>認め合う・支え合う環境づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一人一人が安心して自分の想いを伝えることができる居場所づくり</li> <li>• 生徒間交流ができる場の設定</li> <li>• いじめ差別を許さない心の育成</li> <li>• 自尊感情・自己肯定感の高揚</li> <li>• 道徳教育とキャリア教育の推進</li> </ul>	<b>子どもたちが主体となる自治活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 生徒会活動の充実と活性化</li> <li>• 室長会・班長会の充実</li> <li>• 学校生活づくりへの参画</li> <li>• 主体的な態度の育成</li> <li>• 生徒主体の実践場面の設定</li> <li>• 地域活動、ボランティア活動への参加</li> </ul>	<b>心とからだの健康</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 部活動や校外活動を通じたからだづくりと心づくり</li> <li>• 地域とともにある食育教育推進</li> <li>• いのちの大切さを考える講演会</li> <li>• 心とからだに関わる教育相談</li> <li>• 読書活動の推進（図書室の利用）</li> </ul>
---	--	---	---	--

<b>教師力の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して</li> <li>■ 川越エキスパートの実施</li> </ul>	<b>生徒に関わる力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特別支援教育の視点</li> <li>■ 個人情報適切な管理と整備</li> </ul>	<b>保護者に関わる力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ICT機器の効果的な活用</li> <li>■ 危機管理能力と適応</li> </ul>	<b>確かな授業力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ICT機器の効果的な活用</li> <li>■ 危機管理能力と適応</li> </ul>	<b>プロとしての自覚と研鑽</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ICT機器の効果的な活用</li> <li>■ 危機管理能力と適応</li> </ul>
--	---	--	--	---

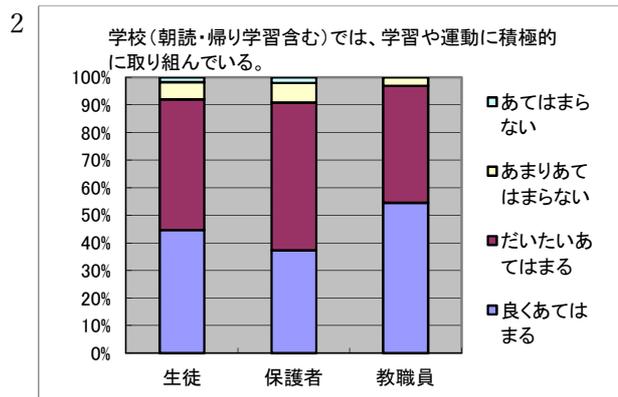
<b>家庭・地域・社会との連携・協働</b> 保・幼・小との学びの連携	<b>地域教育力の活用</b> 情報発信と啓発活動 川越スタンダード（学びのルール）の定着	<b>深い学びの獲得</b>
--	---	----------------

川越町教育基本方針 五つの「SHOW」	疑問をもつように 誘いましょう	思いやりにつながるように 家庭内のルールづくりをしましょう	感情に任せたまは やめましょう	待ちましょう	コミュニケーション能力を 高めましょう
------------------------	--------------------	----------------------------------	--------------------	--------	------------------------

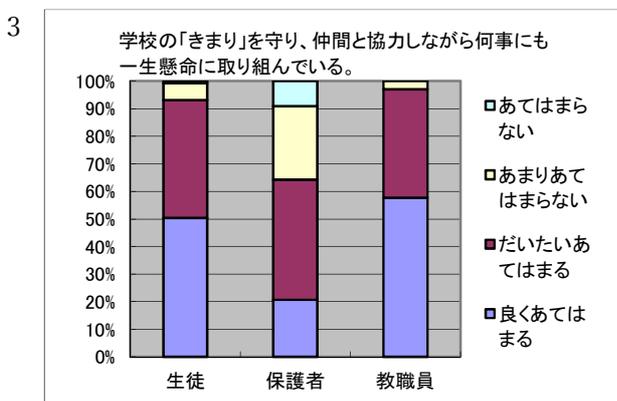
〔結果は、次ページ以降〕



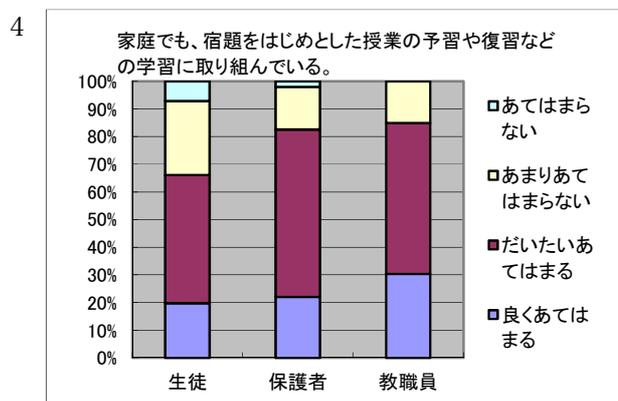
設問は、生徒「社会に必要な能力は何か、考えたことがある」、保護者「川越町教育基本方針の『五つの「SHOW」』を知っている」である。3者とも、おおむね昨年度通りの結果となっている。



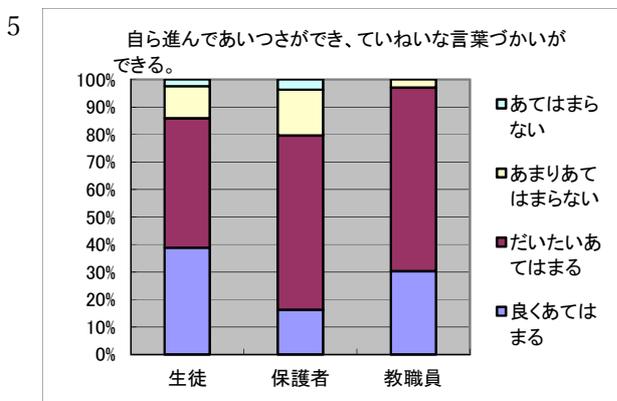
昨年度同様、三者とも90%を超える肯定的な回答となっており、学ぼうとする意欲や学びの大切さについて理解していることがわかる。今後は、生徒自身が主体的に学びが深められるよう取組をすすめたい。



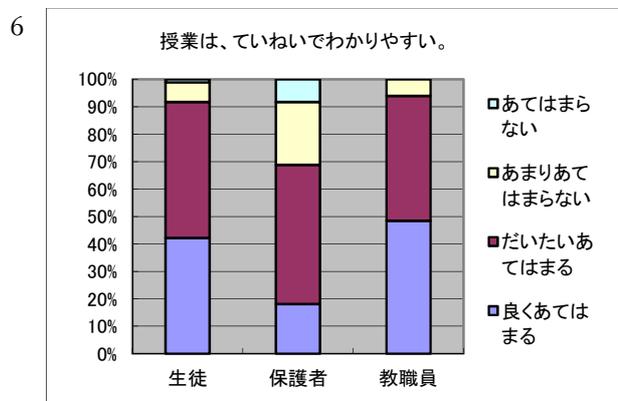
生徒・教職員とも90%強、保護者は約65%の肯定的な回答となっている。この違いは、家庭と学校での姿が違うことが原因の1つと予想される。保護者の方に、学校での様子がわかるような情報発信に努めたい。



生徒は66.1%が肯定的な回答となっている。家庭学習は、これまでも本校の課題として捉えている。今後は、引き続きメタ認知や自己調整力を意識し、主体性に、自らの力を伸ばすための家庭学習につなげていきたい。

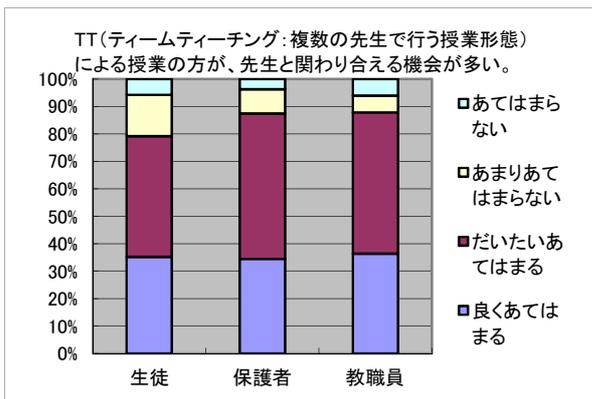


85%強の生徒、約80%の保護者は肯定的な回答である。若干、生徒と保護者で差があり、学校と家庭での様子や捉えの違いがあることが予想される。社会との接続を考え、特に言葉遣いの指導をすすめていきたい。



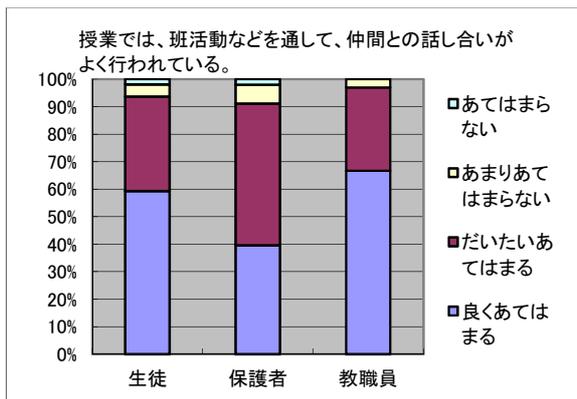
おおむね昨年度と同様の結果である。教員の説明は、一定、わかりやすいようである。授業では知識・技能だけでなく、思考・判断・表現を問うことが増えており、今後、この項目自体を検討する必要があると感じている。

7



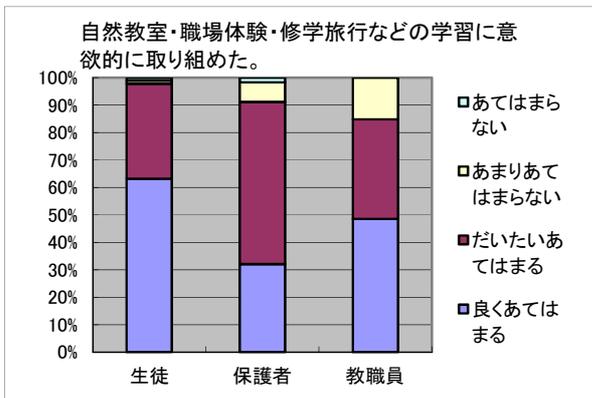
本年度、2年生数学科で少人数授業、全学年英語科でTT授業を行っている。2年生は85%強が肯定的な回答をしており、少人数授業の効果を感じている。少人数授業では、習熟度別コースで実施している。

8



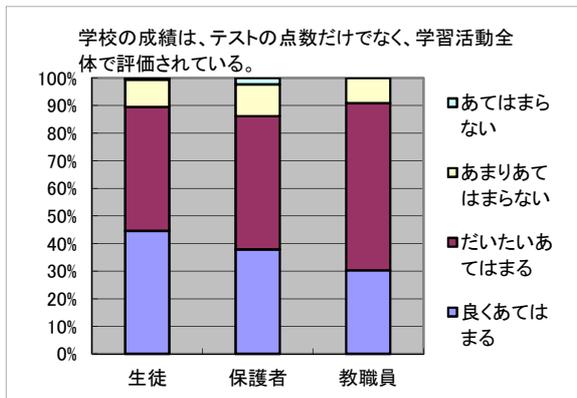
3者とも90%を超える肯定的な回答となった。仲間づくりをベースとして、「主体的・対話的で深い学び」となうよう各教科において、ペア・グループ学習をすすめている。今後も引き続き、研修をすすめたい。

9



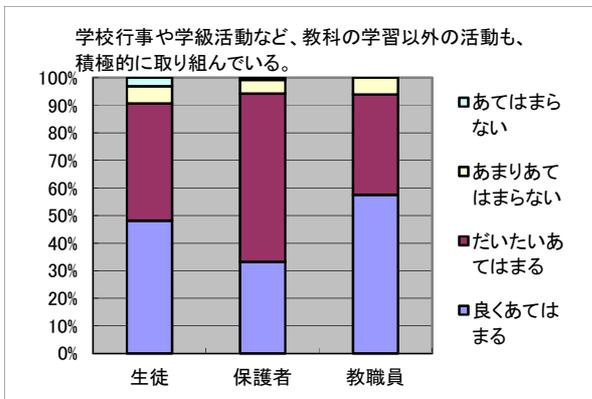
生徒・保護者ともに90%を超える肯定的な回答となっている。本校としても、いわゆる体験学習は重要と考えており、今後、1つ1つの体験学習の目的をしっかりと意識した活動となるよう取組をすすめたい。

10



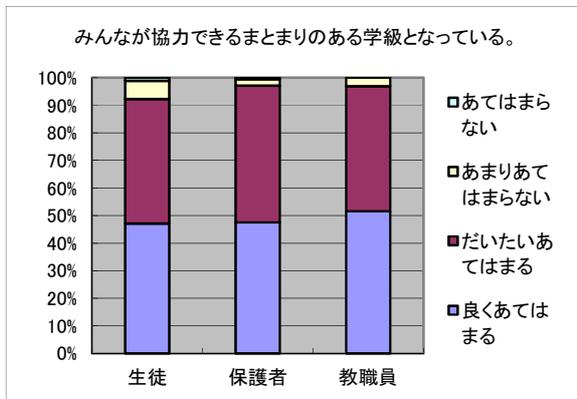
おおむね昨年度通りの結果となっている。評価はテストだけでなく、授業での作品制作、パフォーマンス課題等や日々の授業の中でのみとりで行われる。そのことが生徒にも保護者にも、理解されてきていることが伺える。

11



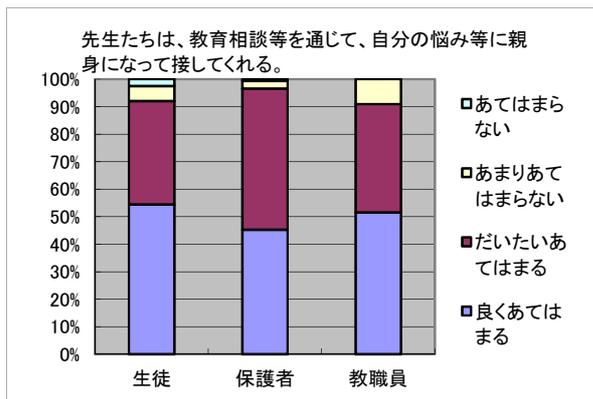
3者とも90%を超える肯定的な回答となっている。体育祭・文化祭、キャリア学習、食育、人権学習等教科外での活動にもしっかりと取り組んでいる結果であると考え。引き続き、充実した取組になるようすすめていきたい。

12



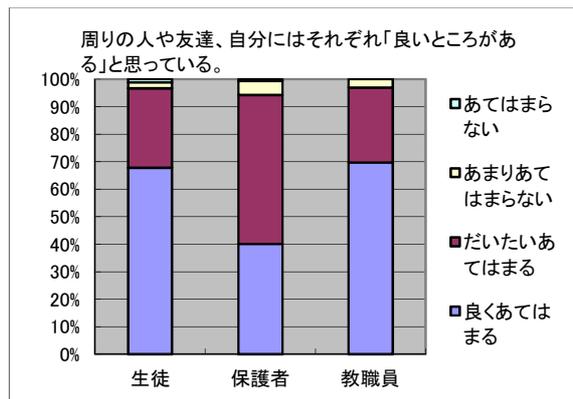
おおむね昨年度通りの結果となっている。仲間づくりをベースに、教科授業でもペア・グループでの活動をすすめている結果だと感じている。今後も、仲間づくりを大切に取組をすすめていきたい。

13



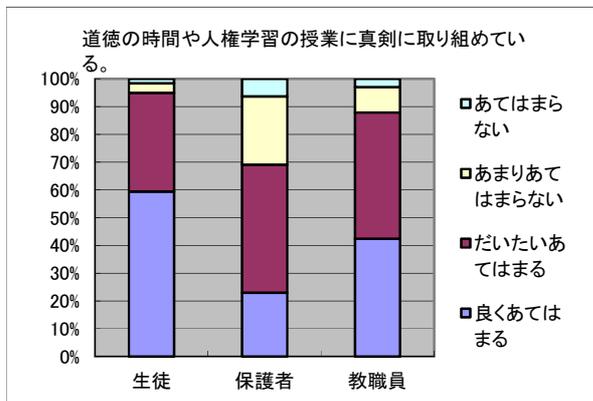
生徒・保護者ともに90%以上の肯定的な回答があり、基本的に担任や学年団に対する信頼関係が気づけている状況である。今後も学校は、生徒と、家庭との信頼関係づくりをていねいに努めていきたい。

14



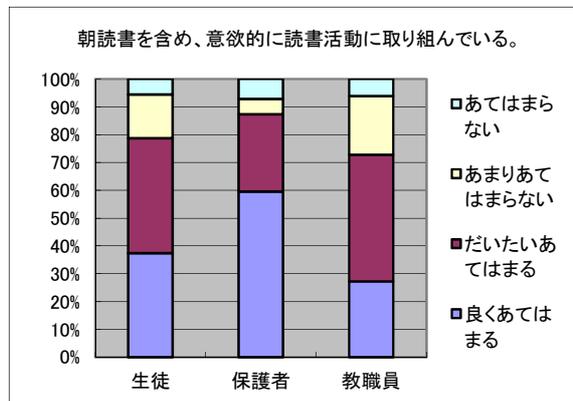
3者とも90%を超える肯定的な回答をなっている。本校の生徒は自己肯定感が高く、学校や家庭で「褒めて」育つ環境が定着しつつあると思われる。来年度は、「主体性」の育成も高めながら、自己肯定感を涵養していきたい。

15



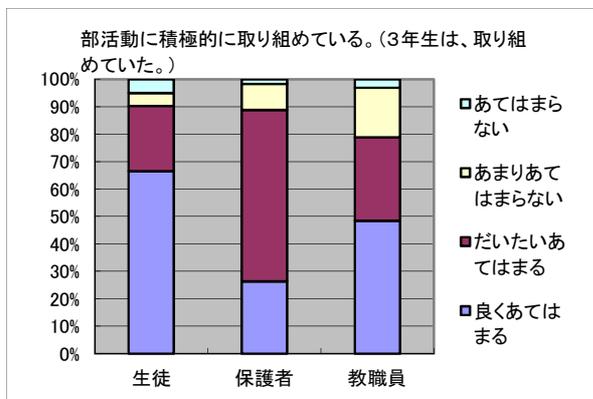
おおむね昨年度通りの結果となっている。現在、道徳は学年教員が順番に授業を行っており、この形が浸透しつつ、多様な教員の価値観にふれる機会となっている。来年度も自らの価値観をふりかえる機会として、継続したい。

16



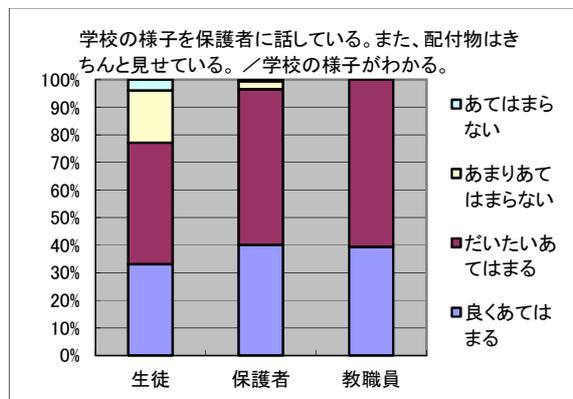
おおむね昨年度通りの結果となっている。保護者の肯定的な回答が増加しているため、家庭では読書活動がこれまでより進んでいると思われる。今後も、活字に慣れ、自らの世界を広げるために、読書活動を推進したい。

17



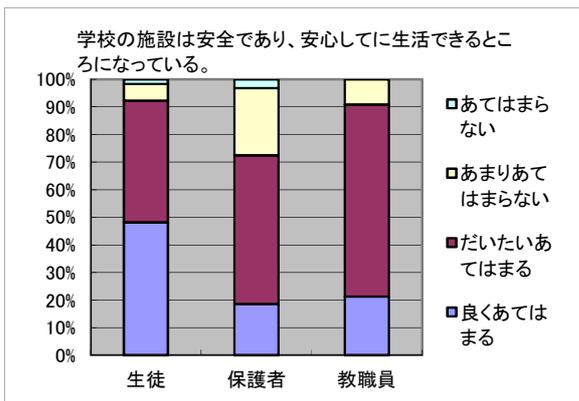
現在、任意加入となっており、肯定的な回答は高い。来年度の夏の大会以降、休日の部活動は学校では行わないことになる。今後は、町の部活動地域展開や地域での習い事、イベント等、休日の過ごし方が変わっていく。

18



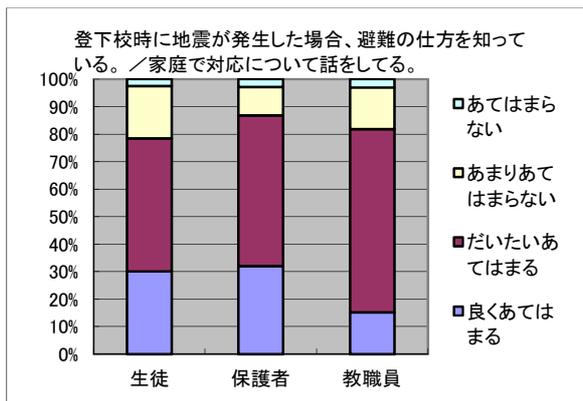
生徒の肯定的な回答が他の2者と比べ、低い値となっている。思春期をむかえ、生徒と保護者の関係が変化する時期でもあることや生徒が配付物を保護者に渡していない等の原因が考えられる。

19



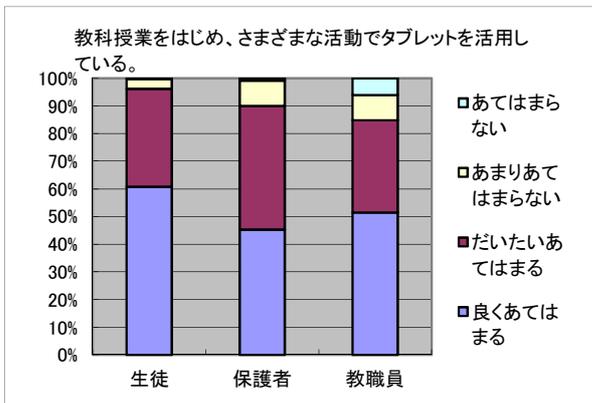
保護者の肯定的な回答が他の2者と比べ、低い値となっている。現在、校舎改築で仮校舎での生活となっているがこと原因と考えられる。来年度、冬に完成する新校舎は防災対策も行われる予定である。

20



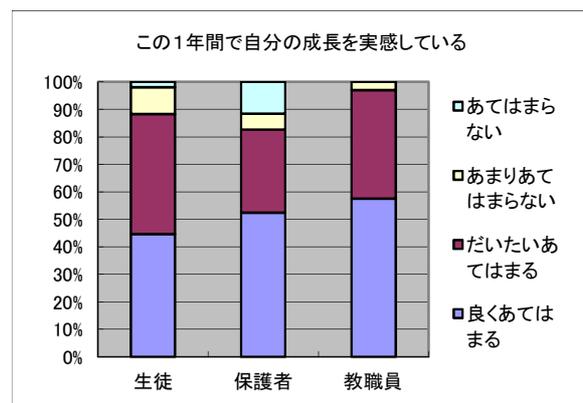
保護者は85%強が肯定的な回答をしており、いざというときの対応について生徒と保護者が一定、共通理解が図れている。今後も学校として、震災等に危機感を持ちながら、防災教育を進めていく。

21

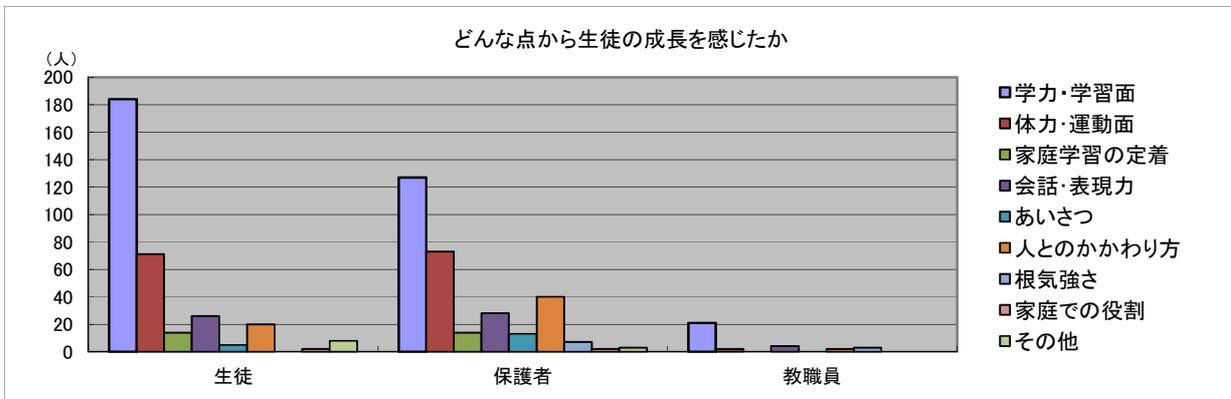


95%超の生徒が肯定的な回答をしている。タブレットが文房具同様、学びに利用する1つのツールとして日常化している状況が読み取れる。今後は、学びを深めるためのツールとしての活用を進めていきたい。

22



22



85%強の生徒が、自分の成長を感じている。学年が上がるごとに、少しずつではあるが、値は上がっている傾向にある。教科授業を中心とした学力・学習面や体力・運動面の値が高いことは当然であるが、川越中学校が大切にしているコミュニケーションや仲間づくりにかかわる成長を感じていることは、本校の特徴だと考える。生徒たちの力を定着させ、さらに伸ばしていくために、来年度以降、家庭学習の充実が図れるよう取組を検討したい。